



臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-5550-7045

担当者の所属・氏名 臨床検査科 市川奈央子

【研究責任者】

聖路加国際病院 臨床検査科 市川奈央子

当院で大動脈弁置換術を受けられた方を対象とした

術後弁膜症に関する研究

1.研究の対象

2016年1月～2023年6月20日に当院で大動脈弁置換術後、心臓超音波検査を受けられた方

2.研究の目的・方法

大動脈弁置換術後に心臓超音波を実施する目的は、手術した場所に異常が起きていないか観察することと他の弁に異常がないかを検査することです。僧帽弁に石灰化が生じていると、手術後経年的に僧帽弁狭窄症が進行する場合があります。近年、手術数が増加している経皮的な大動脈弁置換術後に僧帽弁の動きが制限されてしまう症例がありました。元々あった石灰化が経年的に増えることによるもの及び大動脈弁の手術で用いた人工弁の影響が考えられています。人工弁の影響について調査する事で、どの程度、僧帽弁狭窄症に影響しているのかを明らかにし早期治療につなげることを目的としています。

なお、この調査では通常の保険診療以外の医療行為はなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。

調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2025年3月31日までの予定です。
該当データの利用開始は、2023年7月21日を予定しております。

3.研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

性別、年齢、身長、体重、大動脈弁置換術の手術術式、手術で使用した人工弁の種類、既往歴（高血圧・脂質異常・糖尿病、透析の有無）、血圧 等

《血液生化学検査》

クレアチニン、コレステロール、中性脂肪、HbA1c、NT-pro BNP、トロポニン T 等

《心臓超音波計測値》

左室壁厚、左室拡張末期径、左室収縮末期径、左室収縮能、左室拡張能、僧帽弁と大動脈弁の弁膜症評価項目 等